

5月9日（金）かつらぎ町の平和行進です。 日本政府は禁止条約の署名・批准を!!



伊都実行委員会代表の松浦憲信さん

5月9日（金）かつらぎ町の平和行進です。町庁舎前で出発集会です。まず、伊都実行委員会代表の松浦憲信さんが挨拶します。県実行委員会事務局からも、被爆の実相の普及と「日本政府は禁止条約への参加を」の署名を広げようとの呼びかけました。次いで、かつらぎ町の南典昌副町長が中阪雅則町長のメッセージ「世界では依然として、戦争が起き、尊い命が失われています。このような状況下、核戦争の可能性は皆無ではありません」と代読します。町職員の方も何人か集会に参加しています。さらに、かつらぎ町議会の松岡宏行議会議員のメッセージも紹介されました。

かつらぎ町の東芝弘明町議からは「ノーベル平和賞を受賞した時に、私が心に刻んだのは国民主権とという言葉でした。一人ひとりの被爆者の思いが全世界に通じて、それが世界の世論を動かし、ノーベル平和賞につながったと思います」と連帯の挨拶をいただきます。わかやま市民生協の朝野薫徳さんは「戦後80年の節目となる今年は、戦争をテーマとし、次の世代にも平和の大切さを考えるきっかけをつくる企画に取り組んでいます。今年の4月には、春のピースツアーとしてガイドさんと共に平和公園や平和祈念資料館の見学を行いました」と生協の平和活動を紹介する決意表明がありました。最後、9条の会かつらぎの方が、かつらぎ町集会アピールを読み上げ、参加者全員で確認しました。雨の中でしたが、町役場前から宣伝カーを先頭にアピールをおこないながら国道24号線をオークワかつらぎ店近く迄歩く平和行進でした。 県原水協事務局